



対話の中から新たな提案生まれる

日本鉄リサイクル工業会 関東支部長 谷平寛幸氏に聞く

日本鉄リサイクル工業会関東支部の第14代支部長に谷平寛幸氏（タニヒラ代表取締役）が就任した。新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に、関東市場では市中スクラップの発生低迷や相場の急伸・急落が引き起こされ、金属リサイクル業の事業環境は大きく揺れ動いている。同氏に新支部長としての抱負や関東支部の活動方針、金属リサイクル業界の現状などについて聞いた。（令和2年7月3日取材）

関東支部としての活動を活発化

「会員間のパイプを太く」

——日本鉄リサイクル工業会関東支部長に就任にあたり、抱負と活動方針は。

谷平 千葉部会長を4期8年務めてきました。千葉県からの支部長就任は初めてのことです。千葉を代表し、千葉部会での経験を活かしながら、関東支部長として活動していきたいと思えます。

歴代の関東支部長は、大手事業者の方が多かった。当社のような中小規模の会社からの支部長就任は初めてです。しかし、関東は中堅どころの

していることに加え、さらに一歩進んで「ダスト処分費」を徴収しているところもあるようです。しかし、関東では集荷競争が激しい分、こうした対応に差が生まれると集荷に大きな影響が出てきます。かと言って、一斉に実施できるものでもありません。

大企業から中小企業まで幅広い意見を伺いながら、また、私が若い頃の現場作業の経験も踏まえて、この問題に取り組んでいきたいと思えます。私が実際に見てきたの

は関東の動きだけです。関東支部長として、他の支部の状況を目で見てみたい、様々な方と意見交換をしてみたいと思っています。そこで得たものを関東支部の皆さんに報告し、取り入れることができるものは関東でも取り入れていきたいと考えています。

——関東支部内に12部会あり、部会ごとの活動が中心だ。関東支部としての活動は。

谷平 関東支部は部会ごとに、活発に活動して頂いています。千葉部会

新型コロナウイルスの感染拡大 市中発生が大幅に低迷

——新型コロナウイルス

の感染拡大の影響で、市中スクラップの発生が大幅に減少している。

谷平 関東支部の会員

り始め、6月以降はさらに悪化しています。特に持ち込みが少なくなっています。ビルで言えば5階建て以下の中堅どころの建物解体が減っているためとみられます。当社の周辺には、建設廃材や廃木材のリサイクル事業者や産業廃棄物事業者がありますが、当社も含めて、いずれも人命を落とすに悪化しています。特に、地域や事業者によって状況は大きく異なっています。ですから、自社以外の状況は良く分からない。ですから、実際に足を運ぶ自分の目で見て、そこで得た情報を関東支部の会員に向けて発信していきたいと考え

広告スペース

ています。

——千歳内には外国

人事業者をはじめ、「新興勢力」が多い。影響は

谷平 国道16号線の外側は特に多く、会員事業者はそれらとの激しい集荷競争を強いられています。さきほど会員事業者の入荷が減少しているとお話しましたが、発生の減少だけでなく、こうした集荷競争も原因の一つです。また、他の地域では製鉄業の稼働休止や減産によって工場発注スクリップが減少している。地域や事業者によって入荷減の原因が異なっているのです。

と一言、全体的に扱ひ量が減少していますから、品不足感が広がり、5月下旬から相場が急伸することになりました。ただ、「ナイモノ高」となり、行き過ぎた値上がりとなってしまったかと思えます。ですから、6月下旬から値下がりが始まる、一気に急落することになりました。今後も同じような相場の急伸・

急落が起るのではないかと懸念しています。

——金属サイクル事業者の収益については。

谷平 我々の事業は鉄スクラップの単価ではなく、モノを動かしてはじめて収益に結びつきます。その流通が滞っているのが現状ですから、収益は非常に厳しい状況にあります。しかも、この

厳しい環境が立派な課題と予想されます。

——東京オリンピック・パラリンピックの開催が1

年延期となりました。これらの関連の建物解体などの予定も来年にずれ込んでいきます。しかし、実際に開催されるかどうかはわかりませんが、計画の立てようがない。再開発事業などにも

影響が出ています。

ただ、徐々に計画を見

直す動きが広がり、実際に工事が動き出すことになると思いますが、自動車メーカーなどの生産も回復しつつあります。最悪の状況からは脱し、秋口から年末にかけて中スクラップの発注も回復に向かうのではないかと期待しています。

うか。

——具体的な対応策は。

谷平 対応策は様々にあると思いますが、お客様を大事にするという基本は忘れないようにしています。例えば、コンビニ二エンスストアでも、店員さんに無言で対応されるよりも、「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」と言われた方が、また来ようと思えますよね。たつたそれだけのことで、お客様に与える印象は全く異なります。我々の世代に比べ若い世代はこうした対応が苦手なところが多いように見えますが、当社では、顧客との対話を大切にしようとしています。

す。私の考え方が古いのかも知れませんが。

鉄スクラップの品質管理をますます徹底していかなければなりません。ダスト引きなどお客様にお願いただくことが増えてくる。そうした時に、普段の会話ができていないようでは、お願いすることもままならない。普段から関係を築いたうえでなければ、できないことです。これは社内の人間関係にも当てはまることです。工業会の会員同士の間にも当てはまっています。関東支部の運営にあたっては、会員間でのいい関係を構築し、対話を行う中で、進めていきたいと思っています。

しっかりととした土台を顧客重視し、いい関係を構築

——人材確保が金属サイクル業界の課題だ。現在の状況は。

谷平 工業会では外国材の採用について、検討を進めています。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大によって、見直しを迫られることになっていないでしょうか。一方、国内ではコロナ禍による経済の悪化により、人材採用が好転しているとの話があります。会員事業者の中でも、

「今がチャンスだ」とおっしゃる方もいます。

しかし、人口比で見ても、30代以下の人口は少なく、今後も人材確保は当業界にとって大きな課題だと思います。

——金属サイクル業

にとって多くの課題があるが、対策の優先順位をつけるべきだ。

谷平 現時点ではつきり言えるのは、現状をどう維持できるかだと思えます。土台がしっかりしているかどうか、事業を継続できるかどうかに直結すると思います。それは「新勢力」の存在に与える影響は大きい。

一方で、市中スクラップの発注が減少している状況下では、事業規模の縮小も選択肢として考えられます。しかし、そのやり方がうまくいくとは限りません。これは個人の考えですが、守るだけでは土台がしっかりしませんが、現状維持も危うい。やはり攻めの姿勢



を必要とする。定期的な電気炉メーカーとの対話の機会を持つているところもあります。関東支部でも、こうした取り組みが出来ればと考えています。

業界として、あるいは関東支部としての課題とその対応については。

谷平 千歳市で事業を営んでいますと、外国資本の参入事業者も、いわゆる「新勢力」の存在をどうしても意識せざるを得ません。事業規模が多岐にわたることながら、事業規模を大きく拡大してきているところもありません。無視できない存在です。

自由競争ですから、今後は新たに参入する事業者はあるでしょうし、今後さらに力をつけてくる事業者も出て来るでしょう。法令

「新興勢力」を活力に品質など電メメーカーと対話を

——金属サイクル業界として、あるいは関東支部としての課題とその対応については。

谷平 千歳市で事業を営んでいますと、外国資本の参入事業者も、いわゆる「新勢力」の存在をどうしても意識せざるを得ません。事業規模が多岐にわたることながら、事業規模を大きく拡大してきているところもありません。無視できない存在です。

自由競争ですから、今後は新たに参入する事業者はあるでしょうし、今後さらに力をつけてくる事業者も出て来るでしょう。法令

業界として、あるいは関東支部としての課題とその対応については。

谷平 千歳市で事業を営んでいますと、外国資本の参入事業者も、いわゆる「新勢力」の存在をどうしても意識せざるを得ません。事業規模が多岐にわたることながら、事業規模を大きく拡大してきているところもありません。無視できない存在です。

自由競争ですから、今後は新たに参入する事業者はあるでしょうし、今後さらに力をつけてくる事業者も出て来るでしょう。法令

を遵守している事業者とは取引が増えていくことになるでしょう。そういう風に時代は変わっていくのだと思います。

ただ、この問題は千歳県の中でも差がありますし、全国的に見ればさらに異なることがあるでしょう。やはり実際にこの目で見たら、他の支部の状況を伺ったりしながら、今後について関東支部の皆さんと議論していきたいと考えています。

また、品質問題も含めて、鉄スクラップの最大の需要家である電気炉メーカーとの対話も必要だと思えます。他の支部では、定期的な電気炉メーカーとの対話の機会を持つているところもあります。関東支部でも、こうした取り組みが出来ればと考えています。

自由競争ですから、今後は新たに参入する事業者はあるでしょうし、今後さらに力をつけてくる事業者も出て来るでしょう。法令

広告スペース